

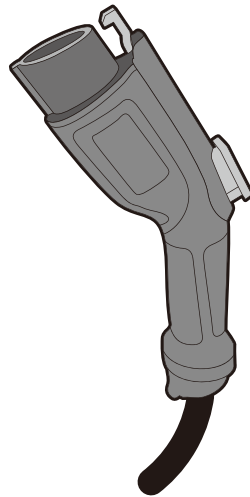
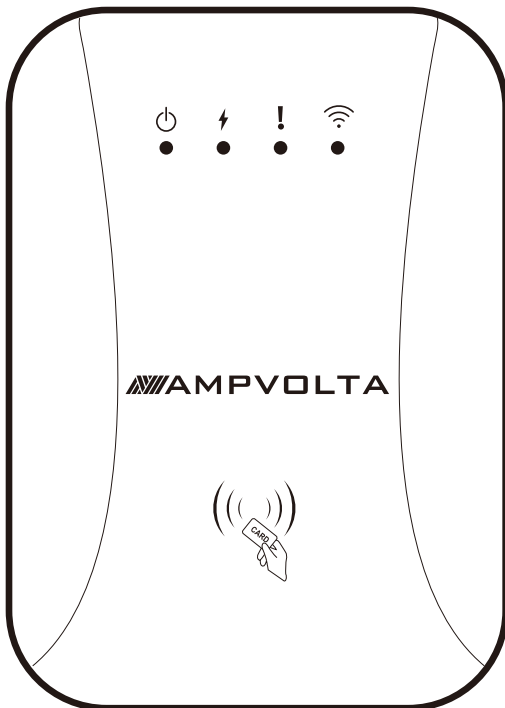
AMPVOLTA

EMPOWER YOUR EV

MODE3 電気自動車用普通充電器

AC5-32J

取扱説明書



目次

- ①安全上のご注意
- ②使用上のご注意
- ③製品概要
- ④仕様
- ⑤各部の名前
 - ・充電器本体
 - ・充電プラグ
 - ・LED ランプの状態表示
- ⑥充電方法
 - ・準備
 - ・接続
 - ・充電中
 - ・充電終了
- ⑦高度な設定
 - ・初期設定
 - ・スマートフォンアプリを使った充電操作
 - ・ICカードを使った充電操作
- ⑧メンテナンス
 - ・お手入れのしかた
 - ・点検のしかた
 - ・故障かな?と思ったら
 - ・ランプの状態表示

このたびはアンプボルタジャパン製品をご購入いただきまことにありがとうございます。

- 製品を安全に使用するため取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
- 使用を開始する前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 保証書は設置日、販売店名の記入を確認し大切に保管してください。

保証期間内であっても取付施工や取扱説明書、施工説明書、本体ラベルなどの注意書きの内容を守らなかったことに起因する不具合は無料修理の対象外となります。なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

①安全上のお願い

- 本製品のご使用に際して本項に記載されたことを必ずお守りください
- 注意事項を守らないために発生した事故や故障などについては責任を負いかねます

お願い

本製品には寿命があります。使用条件、使用場所で進行が異なりますが、使用年月とともに劣化が進行します。当社では安全・品質の信頼性向上に努めていますが、一般的にも金属製品は使用年月とともにサビなどの腐食が発生し、樹脂部分は紫外線による材料の劣化・退色が発生するおそれがあります。長くご使用いただくためにもお客様ご自身でお手入れや定期的な点検を実施して下さい。お手入れや点検において異常が見つかりましたら、施工工事店までご連絡ください。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています



警告 「死亡や重症を負うおそれがある内容」です



注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています



してはいけない内容です



実行しなければならぬ内容です



気をつけていただく内容です

- 使用時のご注意

警告



禁止




- 電気自動車 (BEV) およびプラグインハイブリッド (PHEV) の充電用途以外で使用しない
- ぬれた手で充電用プラグに触らない
- 充電用プラグに水をかけない
- 製品の分解、改造は行わない
- 本体をビニール袋や布でおおわない
- 可燃性ガスや引火物の近くで使用しない
- 幼児や子どもに使用させない
- 施工時に設定された充電容量を超えて使用しない
- ※配線が過熱し発火するおそれがあります
- ※遮断器が作動して充電が止まります
- 充電用プラグの電極に触れない
- 心臓ペースメーカー、ICD(心室除細動器)をお使いの方は充電器に近づかない
- ※本製品は電波を利用した無線設備を使用しているため心臓ペースメーカーやその他医療機器に影響を与えるおそれがあります







禁止




- 本体背面の接続端子台のフタを開けない
- 充電中以外は車両へ充電用プラグを差し込んだまま放置しない
- 充電ケーブルを巻付けたリ束ねた状態で充電しない
- 充電ケーブルがねじれている状態で無理に引っぱったり伸ばしたりしない
- ※ケーブルがねじれている時はねじれを戻してから使用してください
- 充電ケーブルを地面や建物、壁の角に強く当てたりこすりつけない
- 充電ケーブル、充電プラグを人や車両で踏みつけたり強い衝撃を与えない
- 充電ケーブルを引っ張ってぶら下がったり腰を掛けたりしない
- 充電ケーブルに張力がかかった状態で充電しない
- 充電プラグを振り回さない
- ペットに充電ケーブル、プラグを噛ませない




■使用時のご注意

 警告	
 必ず 守る	<ul style="list-style-type: none"> ●充電用プラグや充電ケーブルに割れ・欠けなどの異常が発生した場合は、電源を切り直ちに使用を中止する ※施工工事店までご連絡ください ●異常が発生した場合は、電源を切り、直ちに使用を中止する ※施工工事店までご連絡ください
 必ず 守る	<ul style="list-style-type: none"> ●雨の日に使用する場合は、充電プラグの電極部に水がかからないように使用する ●充電用プラグは確実に奥まで差し込む ●使用後は充電用プラグを充電プラグ用ホルダに戻す ●充電ケーブルが凍結した場合は、40℃程度のお湯で解凍してから使用する ※充電プラグ電極部にはかからないようにする

 注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●製品の上に乗ったり、もたれ掛からない ●充電ケーブルを無理に引っばらない ●充電用プラグを振り回さない、落下や踏みつけなどの強い衝撃を与えない ●可燃性ガスを含むスプレーや引火性のある液体を噴霧しない ●塩害地や温泉地の劣化が促進される場所に設置する場合は保護対策を実施する ●-30～55℃の範囲外で使用しない
 必ず 守る	<ul style="list-style-type: none"> ●充電作業は車両側の取扱説明書に従って作業する。 ※車両側機器が故障する原因となります ●充電プラグはロック解除ボタンを押しながら抜く ●充電ケーブルは地面やブロック壁などにこすらないように扱う ※繰り返すとケーブルの被覆が傷つき内部の電線が露出し感電するおそれがあります
 必ず 守る	<ul style="list-style-type: none"> ●直射日光が当たる場合など製品の表面が高温になっている場合があるので注意する

■保守・点検時のご注意

 警告	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●本体、充電プラグに水をかけて清掃をしない ●本体、充電プラグの清掃に有機溶剤（ベンゼン）や家庭用洗剤を使用しない ●スイッチの確認・操作をする場合は、絶対に電極部に触れない ●施工工事店以外は、取付・交換・修理作業を行わない
 必ず 守る	<ul style="list-style-type: none"> ●点検の結果、不具合や異常を見つけた場合は、充電器専用設置された分岐ブレーカーを OFF にして電源を切り、直ちに使用を中止する ※施工工事店までご連絡ください

 注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●本体を開けない ●裏面の接続端子台のフタを開けない ●本体から出ているケーブル接続部のコネクタを緩めない ●充電プラグを分解しない
 必ず 守る	<ul style="list-style-type: none"> ●鳥のフンや動物の排泄物などが付着しやすい環境で使用する場合は、本体、充電プラグの劣化が早くなるため、点検頻度を短くし、安全確認を行う ●製品にサビが発生した場合は、必ず早期に補修をする

② 使用上のご注意

- 本製品は充電をしていなくても電力を消費します。長期間使用しないときは充電器専用設置された分岐ブレーカーで電源を OFF にして下さい
- 積雪時には適切に除雪してください

③ 製品概要

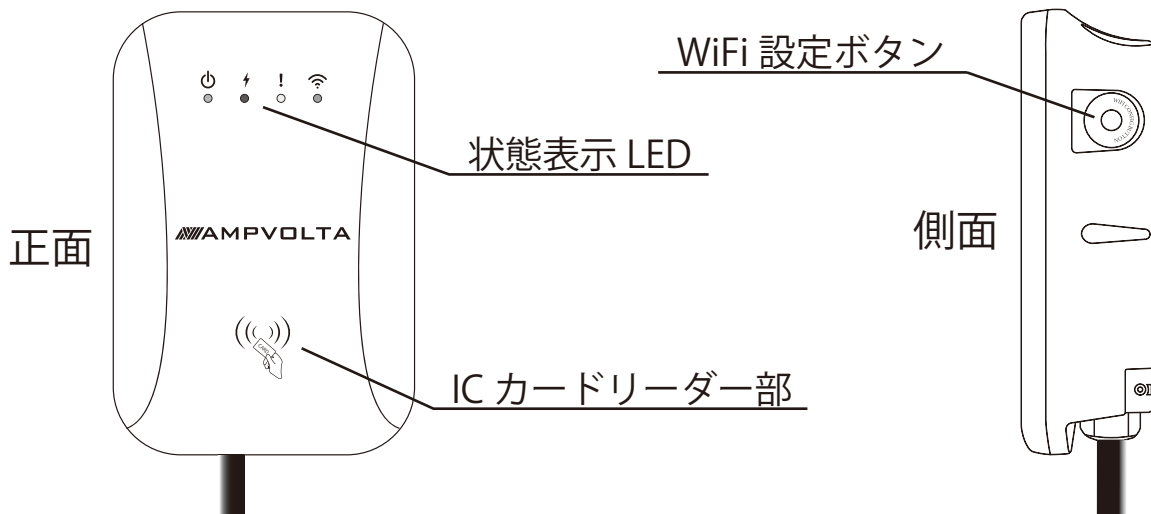
- IEC62198-2 Type1/SAE J 1772 準拠 PSE 認証充電ケーブルプラグ
- プラグアンドチャージ対応 IEC61851-1 Mode3 ケース C 充電対応
- WiFi 11b.11g.11n / 有線 LAN 通信インターフェイス
- 電気自動車充電器管理プロトコル OCPP1.6 準拠
- RFID/IC カードリーダーによるユーザー管理
- Android/iPhone の専用アプリによるリモート充電コントロール
- 電気設備の状況に合わせて充電電流出力の可変設定が可能
- 回路保護機能 サージ保護、温度監視、過不足電圧検知、過電流検知、接地抵抗監視
- 壁面取付 / 自立スタンド (別売オプション) 両対応

④ 仕様

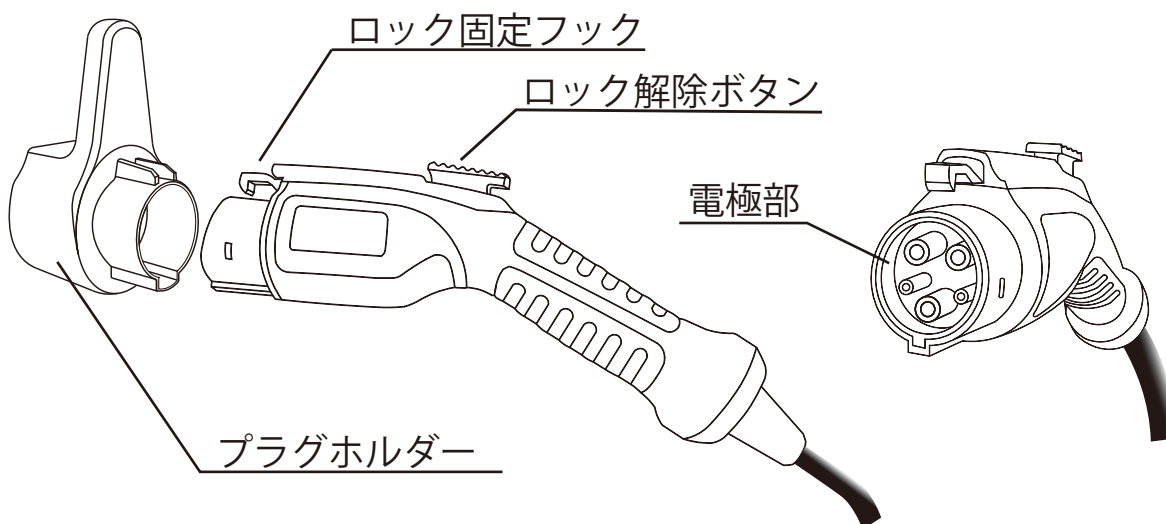
型式	AC5-32J
対応充電モード	Mode 3 Case C Level 2
充電プラグ準拠	IEC62196-2 Type 1/SAE J1772 準拠 PSE 認証
定格	単相 AC200V 50/60Hz
連続使用定格電流	6A ~ 32A(最大) 1A ステップ連続可変
出力電力	32A 時 6.4kW 24A 時 4.8kW 20A 時 4.0kW 16A 時 3.2kW
待機電力	5W 以下
外形寸法 (WxHxD)	220mm×310mm×95mm
充電ケーブル長さ	約 5 m
質量	6.0kg 以下
保護等級	IP65 (本体) IP54 (充電プラグ)
設置環境	湿度 95%RH 以下 (結露のないこと) 標高 2000m以下
使用温度範囲	-30 ~ 55℃

⑤各部の名前

充電器本体



充電プラグ



LED ランプの状態表示

<p>緑 電源ランプ</p> <p>電源の入力状態を表示します</p>	<p>消灯・・・電気が来ていません</p> <p>点灯・・・通電しています</p> <p>点滅・・・接地アース接続不良※</p>
<p>赤 充電ランプ</p> <p>充電の状態を表示します</p>	<p>点灯・・・車両と接続中</p> <p>点滅・・・充電中</p>
<p>黄 エラーランプ</p> <p>エラー発生をお知らせします</p>	<p>点滅・・・エラー発生 15 ページ※</p>
<p>青 ネットワークランプ</p> <p>WiFi を使ったネットワークの接続状態を表示します</p>	<p>消灯・・・ネットワーク未接続</p> <p>点灯・・・ネットワーク接続</p> <p>速い点滅・・・WiFi 設定中</p> <p>遅い点滅・・・サーバー接続中</p>

※「故障かな?と思ったら」の項をご参照ください

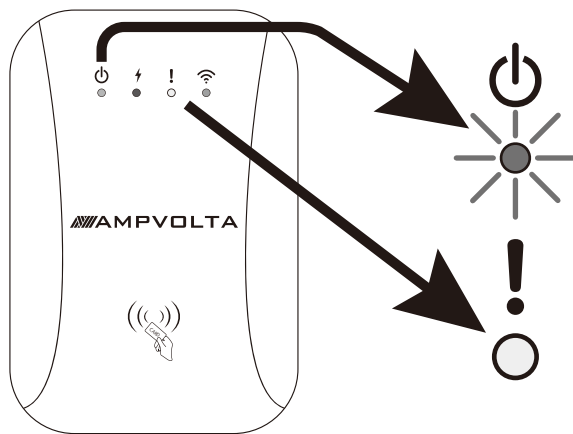
⑥ 充電方法

準備

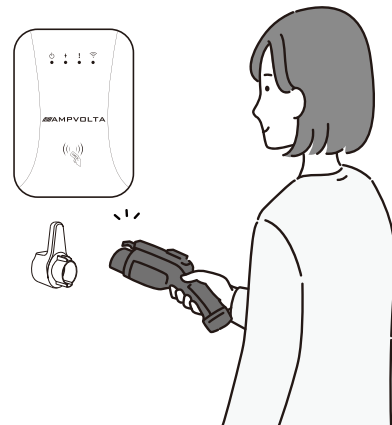
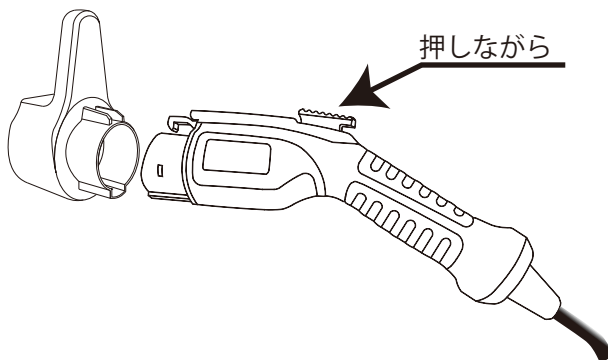
- 本製品のご使用の前にしっかりと本取扱説明書をお読みください



- 電源ランプ(緑)が点灯し通電しているか確認する
※点滅している場合は接地抵抗エラーです施工店にお問合せ下さい
- エラーランプ(黄)が点灯していないか確認する



- ロック解除ボタンを押しながら手前に引いてホルダーから外す

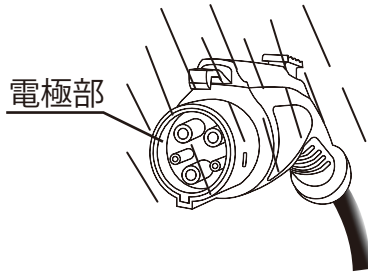


警告
濡れた手で充電
プラグに触らない

※感電のおそれがあります

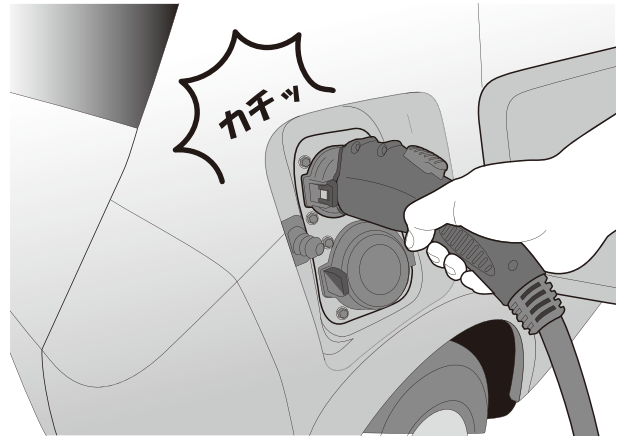
接 続

- 雨の日などに使用する時は電極部が水で濡れないように使用する

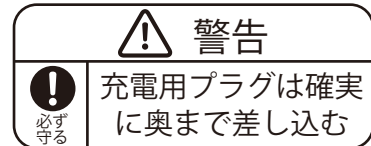


※感電のおそれがあります

- 巻付けてあるケーブルをすべて伸ばし、充電用プラグを車両に差し込む



※カチッと音がしてロックされたことを確認

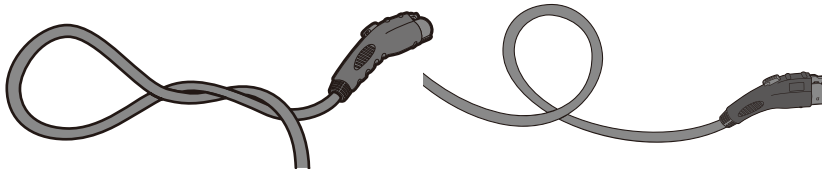


※発熱し火災の原因になります

※車両はケーブルが容易に届く範囲に駐車しケーブルに張力がかからないように接続してください

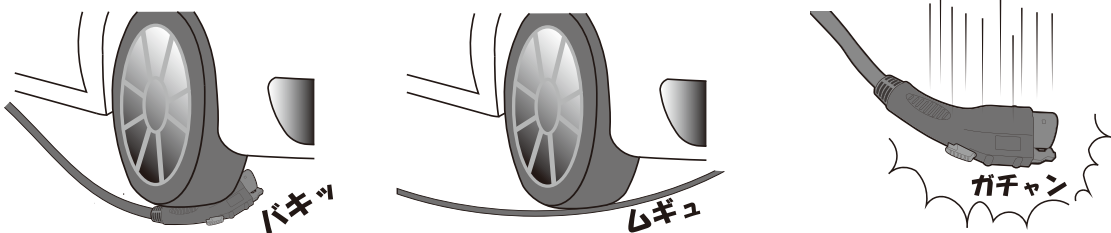
警告

- ケーブルがねじれたり輪を描いてる状態から無理に引張って伸ばさない



※ケーブル内で断線し感電および発熱、発火や故障の原因となります

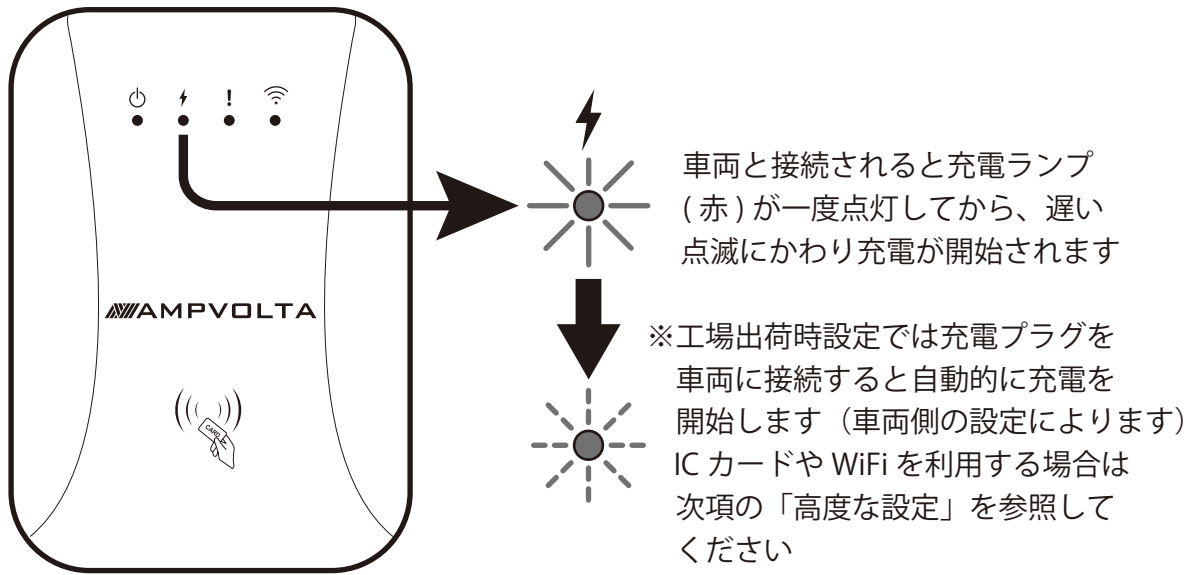
- 充電プラグやケーブルを人や車両で踏みつけたり落としたりして衝撃を与えない



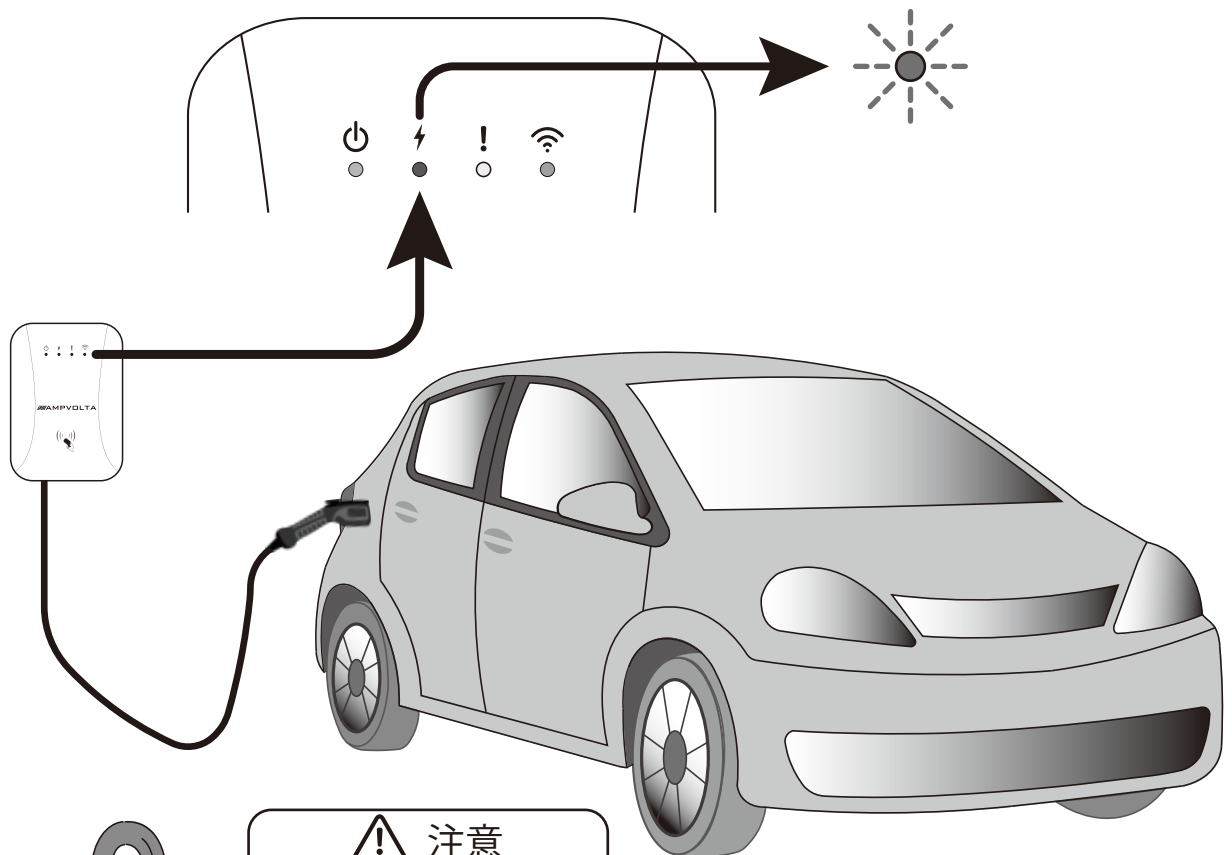
※充電プラグが破損したりケーブルが断線し感電および発熱による火災の原因になります。割れ、欠け、裂けなどが発生したら使用を中止して施工工事店までご連絡ください

充電中

- 接続すると充電ランプ(赤)が点滅にかわり充電が開始されたことを確認



- 充電中は赤色LEDが遅い点滅を繰り返します



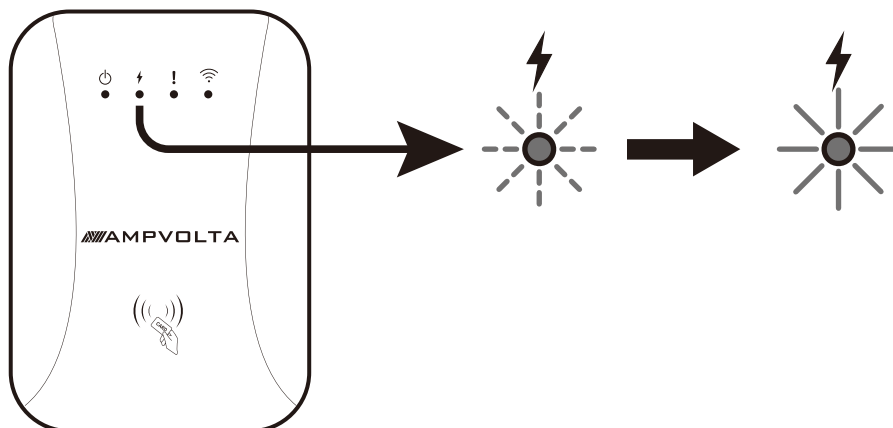
⚠ 注意

充電ケーブルに足を引っ掛け
ないよう注意

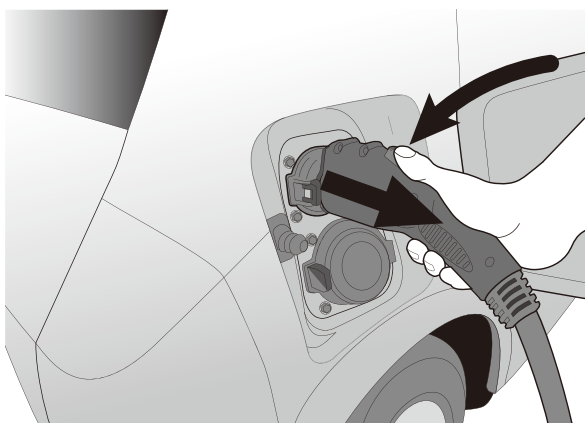
※充電プラグ、ケーブルが破損
または断線し感電、発熱、
火災の原因となります

充電終了

- 充電が完了すると赤色 LED が遅い点滅から点灯に変わります。
充電完了前に充電を停止する時は充電プラグを車両から抜いてください



- 充電プラグのロック解除ボタンを押しながら手前に引いてプラグを車両から外します



警告

禁止 充電プラグを抜くときは強引に引っばらない

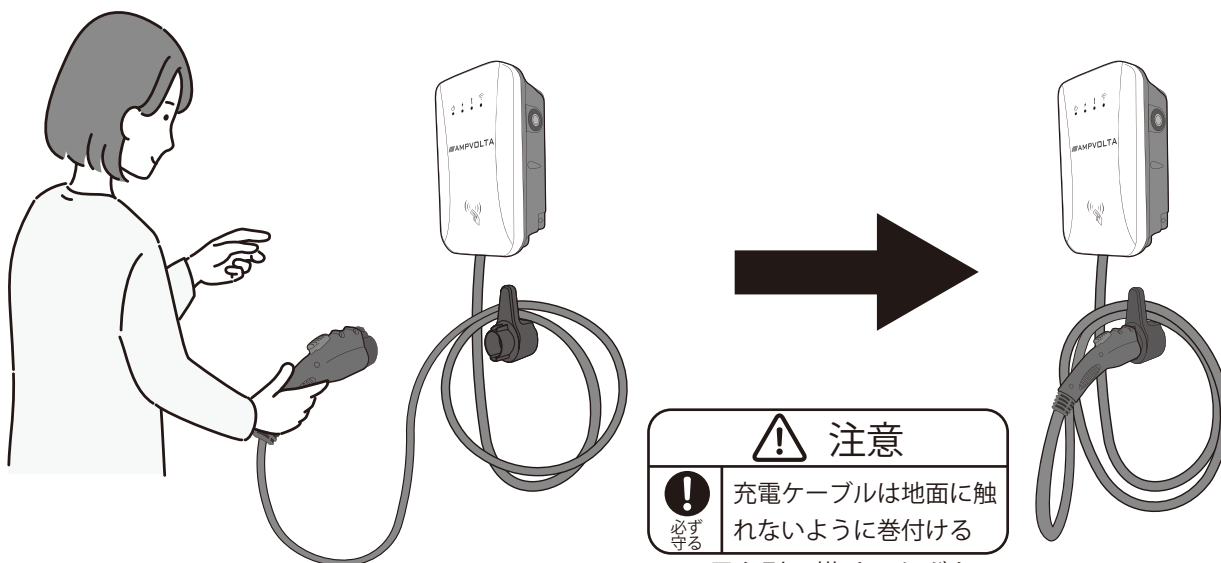
※プラグが破損しケガをするおそれがあります

警告

必ず守る 充電プラグはロック解除ボタンを押しながら抜く

※プラグが破損しケガをするおそれがあります

- ケーブルホルダーのフックにかかるように巻付け充電プラグをプラグホルダーに戻します



注意

必ず守る 充電ケーブルは地面に触れないように巻付ける

※足を引っ掛けてケガをするおそれがあります

⑦ 高度な設定

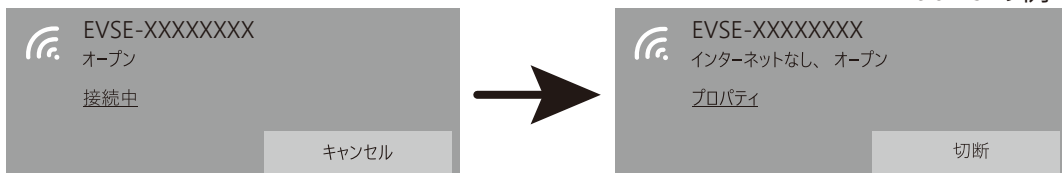
初期設定

●AC5-32Jは2.4GHz帯のWiFi機能を内蔵したパソコンやモバイル端末とピアツーピア接続により高度な設定を行うことができます

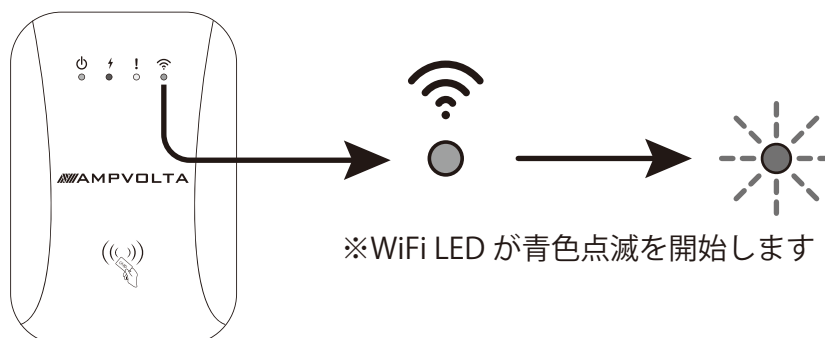
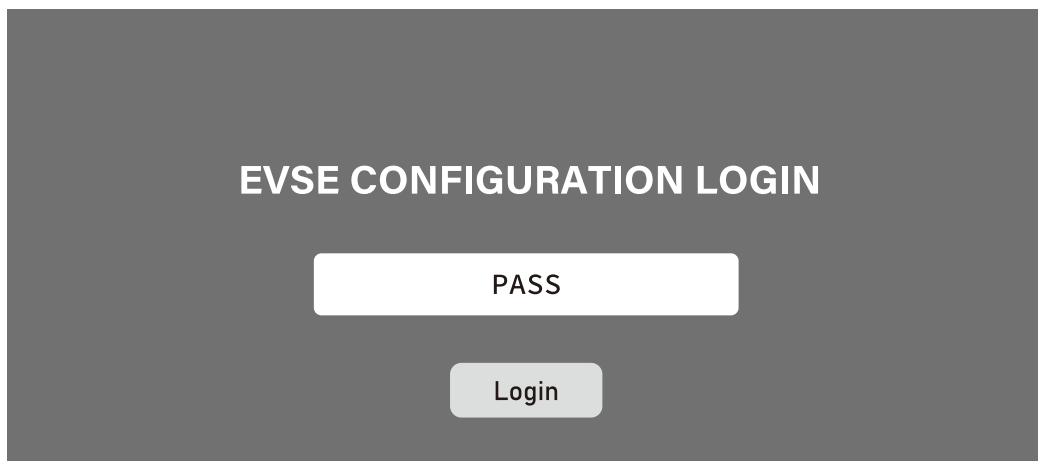
1. 充電器専用設置された分岐ブレーカーをオンにして充電器に通電します
2. 電気通電後、パソコンもしくはモバイル端末のWiFi設定画面で充電器のSSID「EVSE-XXXXXXXX」(Xの8桁は製品のシリアル番号)探し接続します
表示されるまで30秒ほどかかる場合があります、また一定の時間を経過するとWiFi電波の発信を止めてしまいます。WiFi接続のパスワードは必要ありません

※設定画面でWiFi一覧の中にEVSE-XXXXXXXXがない場合は一度分岐ブレーカーをOFF-ONして充電器を再スタートさせて下さい

※Windowsの例



3. 接続する端末により「インターネットに接続されていません」と表示されますがそのまま続けます
4. WiFi接続した端末のブラウザを開きアドレスバーに「192.168.4.1」と入力しエンターキーを押します
5. ログイン画面「EVSE CONFIGURATION LOGIN」が表示されますので に初期パスワード「12345678」を入力しログインします



6. 充電器設定「EVSE CONFIGURATION」画面が表示されます。
WiFi を設定すると次項で説明する専用スマートフォンアプリで充電器の操作や充電履歴の確認、ユーザーの管理などを設定できるようになります

※「User Option」についてはユーザー様ご自身で設定内容の変更が可能です
下段の「Advanced Option」の変更につきましては施工店様にお問合せください

EVSE CONFIGURATION

User Options

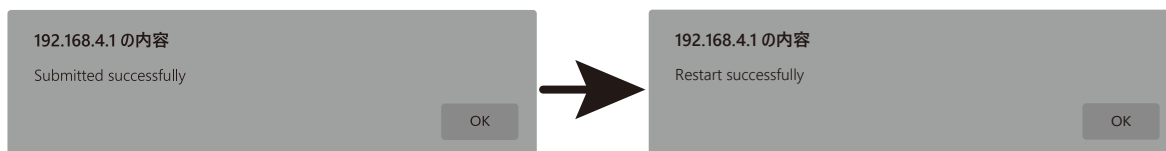
① WiFi SSID:

② WiFi password:

③ Plug and play:

- ① WiFi SSID：ユーザー様がお使いの WiFi SSID を入力
- ② WiFi password：WiFi のパスワードを入力
※充電を行うのに必ず必要になる設定ではありません
※高度な認証方式には対応していません。ゲスト用 WiFi ネットワークなどを設定のうえご利用ください。詳しくはお使いの WiFi 機器の説明書をご覧ください
※WiFi 規格 11b、11g、11n に対応しております
- ③ Plug and play：充電開始の動作を設定します
Yes--- 充電プラグを車両に接続すると自動的に充電を開始します
No---- 付属の IC カードやスマートフォンなどで充電開始や停止を操作する場合
※工場出荷時は Yes に設定されています

設定が完了したら設定画面の最下部にある **SAVE** ボタンを押し設定を保存し **RESTART** を押ししてください。充電器が再起動し設定変更が有効になります



以下の「Advanced Option」の設定は施工店様にお問合せください

Advanced Options

Only change these if you are qualified to install this product.

Serial Number:

OCP server:

OCP version:

OCP AuthPass:

Access point name:

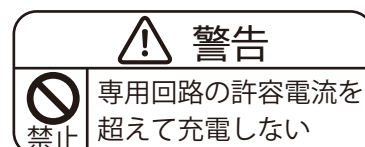
Alternative server:

Charging current:

Login password:

SAVE
RESTART

※設置時に敷設した専用配線回路の許容電流を超えた電流値に設定すると遮断器が作動して充電が停止し、繰り返すと充電器の故障の原因となります
また配線が過熱し火災の原因となります
※変更したログインパスワードを忘れてしまうと次回からログインできなくなるおそれがあります。変更をする場合は忘れてしまった時のためにメモを残しておくことをお奨めします



※発火のおそれがあります

スマートフォンアプリを使った充電操作

- AC5-32J を WiFi に接続してスマートフォンに専用アプリをインストールすると充電の開始や停止のほか充電の状態や履歴を確認することができるようになります

※この機能は充電器設定画面 1 3 ページ「EVSE CONFIGURATION」の「User Options」の③番「Plug and Play」を「Yes」に設定している場合は充電プラグを車両に接続すると自動的に充電を開始するため充電の開始・停止の操作はできません。充電状態と履歴の確認はアプリから可能になります



この機能をお使いになる場合は下記の QR コードから専用アプリ「WE E-Charge」をインストールしてご利用ください



- インストールが完了したらアプリを開き次の手順で設定を進みます

1 Register タップ

2 Account: アカウント名を入力

3 Email(Optional): メールアドレスを入力(任意)

4 Password: パスワードを入力

5 Repeat Password: ④と同じパスワードを入力

6 Register タップ

7 登録成功 Ok タップ

8 Read Privacy Policy タップ

9 Agree タップ

10 タップして QR コード 読取りのカメラを起動 Tap the icon and scan the QRCode on your device.

11 本体左側または保証書のアプリ登録用 QR コードをスマートフォンで読取ります

12 充電完了時のプッシュ通知を設定 Would you want to be reminded when charge is over? Push Notification Push with sound Skid Ok タップ

後から変更できません

アプリ設定の完了です

※アプリ初期設定後に表示言語を日本語に変更できます

アプリのホーム画面右下 Profile → 画面右上 設定 → Language より日本語を選択してください
その他、詳しいアプリの操作方法については弊社ホームページをご確認ください

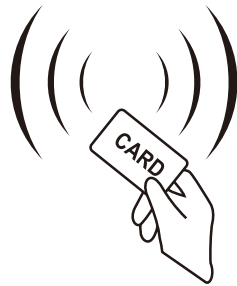
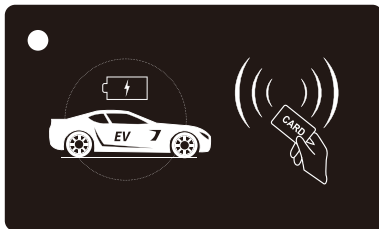


<https://ampvolta.jp/app/>

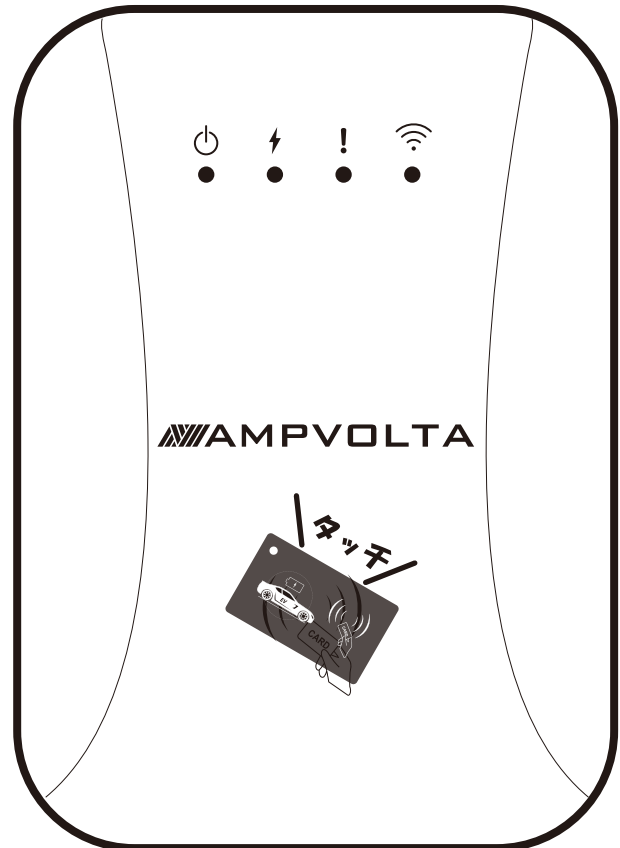
IC カードを使った充電操作

- 製品に付属の IC カードを使って充電の開始・停止を操作できます
 ※この機能は 13 ページ充電器設定画面「EVSE CONFIGURATION」の「User Options」
 ③番「Plug and Play」を「Yes」に設定している場合は有効になりません

IC カード



本体中央のこのマークの部分に IC カードをタッチすると充電の開始・停止の操作ができます



スマートフォン・ICカード機能を活用した便利な使い方

- アプリ・ICカードを使って充電器の利用者を限定することができます
 「Plug and Play」を「No」に設定すると第三者による無断使用を防止し、充電器の操作をアプリをインストールしたスマートフォンと IC カード利用者に限定することができます
- 1 台の充電器を複数のユーザーでシェアできます
 アプリをインストールするとマスターユーザーが許可した複数人で充電器を利用できます
- アプリを使うと 1 台のモバイル端末で複数台の充電器の管理が可能
 宿泊施設や商業施設などで遠隔の操作が可能になり、各充電器の充電状態や充電容量を確認できます

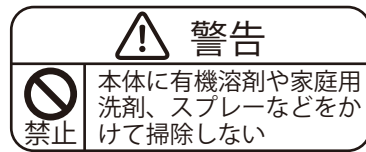
⑧ メンテナンス

お手入れのしかた

- 表面が汚れたら、良く絞った柔らかい布で拭いてください

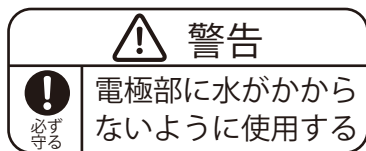


※感電・火災・故障の原因になります



※感電・火災・破損の原因になります

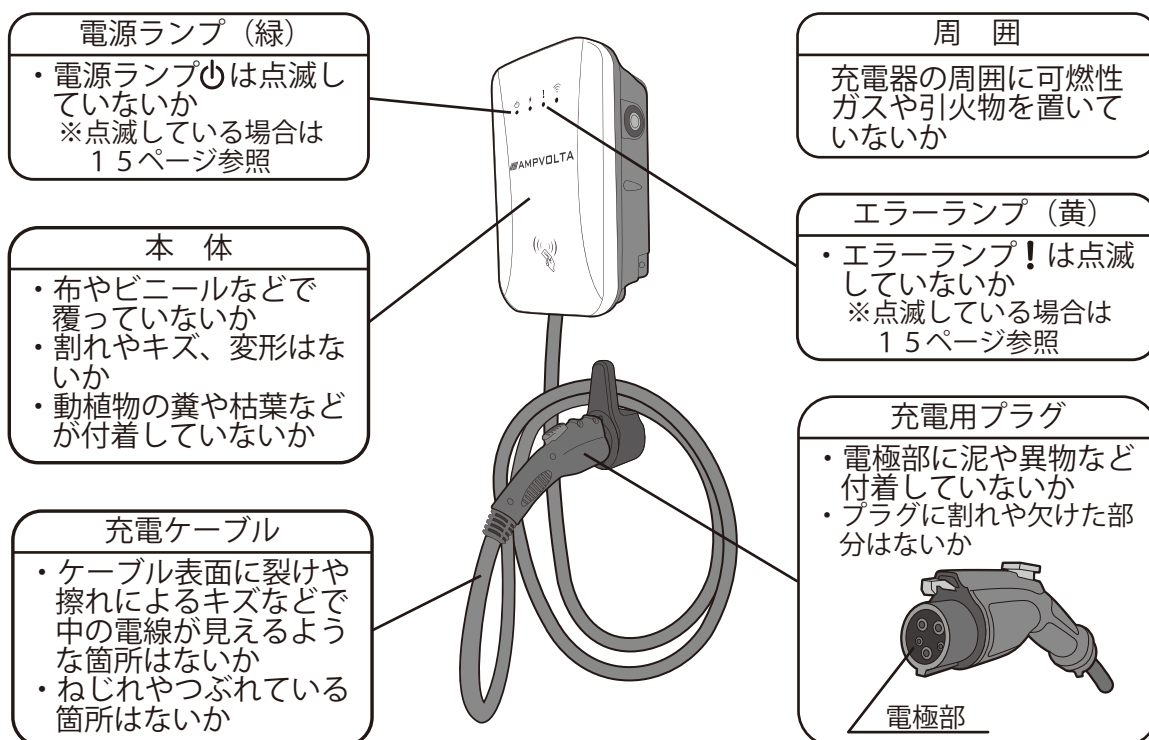
- 積雪時は適切に除雪してください。その際、雪や氷などの水分が充電プラグにかからないようにして下さい
- 充電プラグが砂や泥などで汚れたり、水分が付着している場合は分岐ブレーカーを OFF にして乾いた布でふきとってください



※感電・火災・故障の原因になります

点検のしかた

- 長く安全にお使いいただくために定期的に点検を行ってください
- 点検の結果、異常や不具合があった場合は使用を止め分岐ブレーカーを OFF にして電源を切り、施工工事店までご連絡ください



故障かなと思ったら・ランプの状態表示

●5 ページ「LED ランプの状態表示」の電源ランプ(緑)とエラーランプ(黄)の点滅状態により以下の原因の判断が可能になります。下記内容を確認いただき対処方法をお試してください。確認の結果、異常がある場合は分岐ブレーカーを OFF にして電源を切り施工工事店までご連絡ください

点滅状態	原因	対処方法
	エラーコード 01 充電器のアース接地抵抗が増大しました	・充電器専用回路のアース接地接続の確認が必要です ※施工工事店にご連絡ください
	エラーコード 11 CP 電圧異常	・充電プラグが車両に正しく接続されているか確認してください ・充電プラグを車両から一度外し再度接続してください
	エラーコード 13 充電器の入力電圧が低下しました	・施工工事店にご連絡ください ※お客様ご自身での修理は危険です
	エラーコード 14 充電器の入力電圧が高くなりました	・施工工事店にご連絡ください ※お客様ご自身での修理は危険です
	エラーコード 15 充電器の高温保護回路が作動しました	・充電器を布やビニールなどで覆っていたり充電器本体が高温になっていないか確認してください
	エラーコード 16 充電器保護回路が計測に失敗しました	・分岐ブレーカーを OFF-ON して充電器を再起動してください
	エラーコード 17 漏電を検知しました	・充電プラグやケーブルに損傷が無いか確認してください ・充電プラグや車両の給電口が水に濡れていないか確認してください ・分岐ブレーカーを OFF-ON して充電器を再起動してください ・充電プラグを車両から一度外し再度接続してください
	エラーコード 18 充電器の出力側に短絡を検知しました	・充電プラグやケーブルに損傷が無いか確認してください ・充電プラグや車両の給電口が水に濡れていないか確認してください
	エラーコード 19 充電器の出力電流に異常を検知しました	・充電プラグが車両に正しく接続されているか確認してください ・車両側が壊れていないか確認してください ・充電器に設定した最大電流値を確認してください
	エラーコード 21 車両との接続確認通信に失敗しました	・充電プラグが車両に正しく接続されているか確認してください ・車両バッテリーが満充電の状態を確認してください ・充電プラグを車両から外し再度接続してください
	エラーコード 22 車両が本器の充電モードに対応していません	・充電器に対応していない車両が接続されています (本器は充電 Mode1 車両に対応していません)
	エラーコード 23 内部リレー回路に異常が発生しました	・充電器本体の故障が考えられます ※施工工事店にご連絡ください
	エラーコード 24 保護回路センサーに異常が発生しました	・充電器本体の故障が考えられます ※施工工事店にご連絡ください
	エラーコード 25 充電器のアース接地抵抗が増大しました	・充電器専用回路のアース接地接続の確認が必要です ※施工工事店にご連絡ください

施工工事店名：

施工工事店TEL：

施工年月日： 年 月 日

充電器本体のお問合せはこちら

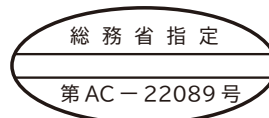
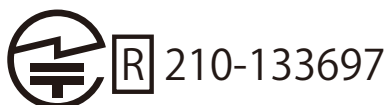
弊社ホームページのお問合せ入力フォーム
または下記メールアドレスよりお問合せ下さい

E-mail:contact@ampvolta.jp



※設置工事に関することは施工工事店にお問合せ下さい

- お客様からご提供いただいた個人情報は商品の説明やご相談の対応、および情報の提供にのみ利用いたします。
- お客様の同意を得ずに第三者に提供することはありません。



- 本資料の掲載内容は2022年12月現在のものです。
- 本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。
- 製品改良のため、仕様、外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。